

## 苗代桜

下呂市の田舎、和佐の常緑樹の森を背景に 2 本の大きな桜の木が立っています。これは樹齢 400 年以上とされる苗代桜です。春に咲く淡いピンクの花が夜にライトアップされ、近くの水を張った水田にその木々が映ります。

苗代（なわしろ）とは稲の苗を育てる苗床のことです。この木の桜が咲くとこの地域に住んでいた村人たちが農作業の準備を始めることからこの名前が付けられました。苗代桜は曆桜（曆の桜）または治癒と医療の仏である薬師如来にちなんで薬師様の桜とも呼ばれています。

苗代桜には毎年何千人もの観光客が訪れます。高い木は高さ 30 メートル、周囲 4 メートルあります。小さい方は高さ 25 メートル、周囲 3 メートルです。